

新病院における業務要求水準書

建設・設備維持管理（ファシリティ・マネジメント）業務 （ウ） 警備業務

1 要求水準

S P C は、次に示す要求水準を満たす業務を提供する。

（１）医療サービスの向上

医療におけるすべての財産を保全し患者、家族及び従業員の安全を守り医療サービスの提供に支障をおよぼさないこと。

- ア 防災機器・装置及び防犯機器・装置の操作、監視を行い、緊急事態発生時、異常時に迅速、適切に対応すること。
- イ 緊急事態発生時、異常時には病院職員、関連従業員と連携し、適切な処置を行い、
- ウ 被害の発生、もしくは拡大を防止すること。
- エ 病院職員、関連従業員に安全教育を実施し、連携ができる状態を確保すること。
- オ 来訪者の出入管理を行い、患者、家族、病院職員及び関連従業員の安全を確保すること。
- カ 適切な警備体制を維持し、病院の機能（安全）を24時間365日確保すること。
- キ 救急車、患者搬送車等の進入の障害となる車両等を整理し、進入路を確保し、患者の速やかな受入を可能とすること。

（２）患者サービスの向上

安全性を確保し、安心して受診、療養できる環境を確保すること。

- ア 患者・見舞客用駐車場、障害者専用駐車場、駐輪場等において適切な整理、誘導を行い安全を確保すること。
- イ 業務は患者の受診、療養の妨げとならないように実施するとともに、安心感を与えるように実施すること。
- ウ 患者、来訪者への対応は親切丁寧に行うとともに安心感を与えるように実施すること。

（３）コスト縮減

- ア 人員配置や業務手順などの工夫により、効率的な運営を行うこと
- イ 他業務との連携により効率的な運営を行うこと。
- ウ 機械等の導入によりの確で迅速かつ効率的な警備を行うこと

2 業務区分

当該業務に係る業務・作業について、下表のとおり病院とSPCで区分するものとする。

業務区分		業務内容	公共	民間
1	警備業務	防災設備中央監視		
		定位置警備		
		巡回警備		
		夜間・休日電話交換		
		駐車・停車管理		
		駐車場管理		
2	緊急事態への対応	被害の発生・拡大の防止		
		関係先への通報		
		安全教育		
3	記録・報告	日常保安警備記録		
		トラブルの対応記録		
		報告の承認		

：主担当

3 費用負担区分

病院・SPC間における費用区分は下記のとおりとし、下記以外のものは別途病院・SPCの協議のうえ決定するものとする。

費用項目	病院負担	SPC負担
什器・備品（防災センター、時間外受付）		
光熱水費（上下水道料、電気料、ガス料金など）		
保安警備設備・備品の保守・修繕経費（部品費を含む）		
労務費（福利厚生費、教育研修費、保健衛生費、交通費含む）		
被服費（SPC職員のユニフォームなど）		
通信費（固定電話の電話料金）		
通信費（電報料金、郵便料金、宅配便料金など）		
部門コンピュータシステム（インターフェイスの開発を含む） 提案内容による		
官庁手数料		
SPCの業務遂行上必要な諸帳票類		
SPCの業務遂行上必要な備品機材、消耗品費（洗剤、消毒剤、融雪剤、事務用品など）		

凡例：負担者（SPC負担の場合、運営費として扱う項目）